



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 伊藤 靖祐 (江南 RC)

世界でもっとよいことをするため、ロータリー財団管理委員会(TRF)は2024-25年度に5億ドルというアグレッシブな寄付目標を立てました。目標の内訳は、年次基金1.5億ドル、恒久基金1.4億ドル、ポリオプラス基金1.5億ドル、その他6千万ドルです。この目標はロータリー財団のマザーファンドとなる恒久基金を2025年までに20億2500万ドルにするという目標達成を後押しします。

マークD.マローニーTRF管理委員長がTRFは“私たちが動かすエンジン”と言っています。エンジンにはガソリンが必要です。ガソリンを供給するために皆様のご理解とご協力が不可欠です。寄付というより、インパクトを与えて長期的なポジティブな変化を与えるために世界でよいことをすると考えていただきたいと思います。

TRFは皆様の寄付からの基金の運用をしていますが、そのポートフォリオを紹介します。年次基金は82%を確定利付債に18%を不動産に投資しています。過去5年間平均で5.4%の収益をあげています。恒久基金は株式48%、ヘッジファンド15%、不動産8%などと長期運用でかつよりリスクを取った運用で過去5年間平均10.3%の収益をあげています。特に2021会計年度の収益率は30.5%でした。エバンストンにあるRI本部の18階建ビルOne Rotary Centerは自己所有でテナントを入れて収益をあげています。

では、TRFはどうしてこのようなハイパフォーマンスをあげられるのでしょうか。もちろん徹底した資金管理と慎重な投資で持続可能な運営をしていますが、恒久基金の一部ではヘッジファンドで運用しているように米国がファンド大国であることも大きな要因です。例えばメジャーリーグ(MLB)と日本野球機構(NPB)の年金の違いを見れば一目瞭然です。MLBでは1日でも一軍登録があると年金がもらえ、5年以上10年まで増えていき、10年で満期になり、一年で約12万ドル(1800万円程度)が死亡するまでもらえます。10年以上の日本人は野茂、松井選手など4人のみでこれから増えていくでしょう。NPBは10年以上の選手登録で、55歳から死亡まで年間120万円だそうです。ゴルフのPGAはもっとすごいです。日本ゴルフ協会とはかけ離れています。MLBやPGAとは違いますが、TRFも長期運用で結果を出し、16年連続で米国の慈善団体の格付け機関である“チャリティナビゲーター”より最高の四つ星評価を受けています。寄付の資金用途がはっきりしているTRFは信頼性が高く、シェアシステムの中核である年次基金は寄付した地区に3年後に返ってきます。恒久基金はTRFの財産となり、運用益が毎年地区に返ってきますので、わかりやすいシステムです。ロータリーのエンジンにガソリンを供給していただくようお願い申し上げます。

